

2024-25年度 黒田会長テーマ -時を楽しむ ロータリーを楽しむ-

第3155回例会 令和6年9月10日(火) 天気:晴 No.8



会長 / 黒田 正志 幹事 / 小笠原正秀

クラブ会報委員 外山晃久 / 永江義澄 / 羽佐田芳和

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

2024-2025 年度

RI テーマ



【本日のプログラム】

司 会 萩原竜治例会運営委員長 斉 唱 「奉仕の理想」
 プログラム 西尾市教育長 稲垣 寿 氏「今、子どもたちに必要な力」
 食 事 アルヴェアーレ



【会長挨拶】



先日の9月7日は暦の上では白露でした。白露とは、草木に白く輝く露降りてということですが、相変わらず暑い日が続いています。昔から寒さ、暑さは彼岸までと言いますから、あと10日ほどすると涼しくなるのではと思っていますが、私もこのところの暑さに少し滅入っています。

ロータリーの観月例会は10月5日です。9月29日は中秋の名月、十五夜です。この日は、秋の七草を飾り、秋の風物詩を楽しむ習わしがあります。これは、平安時代に編纂された日本最古の歌集万葉集の歌人、山上憶良による歌が起源と言われています。「秋の野に咲きたる花を指折りてかき数ふれば七種の花」です。秋の七草は、萩、ススキ、女郎花、撫子、藤袴、葛、桔梗です。萩の花言葉は愛情、ススキは情熱、女郎花は再会の喜び、撫子は純愛、藤袴は慈愛、葛は絆、桔梗は永遠の愛でいずれも情緒ある花言葉です。中秋の名月の日には、庭に秋の七草を飾って、月を愛でて、秋の虫達の合唱をバックグラウンドに、美味しいワインでも飲みながら、秋の夜長を楽しみたいと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉岩瀬正広委員長

本日の出席数 52名 欠席数 16名 出席率 76.48%

〈スマイルボックス委員会〉山尾ひろみ委員長

黒田正志君 教育長 稲垣様、本日は西尾RCへようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願ひします。

小笠原正秀君 稲垣教育長様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

稲垣良次君 稲垣教育長様 ようこそ西尾ロータリーへ来ていただきありがとうございました。今後、我々の教育もしっかりお願ひします。

榊原康正君 稲垣教育長 ようこそ。

尾崎隆爾君 稲垣 寿教育長、ようこそロータリーへ。卓話楽しみにしています。

鳥山欽示君 稲垣教育長様 本日はよろしくお願ひします。

柴田高広君 稲垣教育長ようこそ。今後とも色々とお願ひさせていただきますようよろしくお願ひします。白川の養成塾も楽しみにしています。

杉浦義浩君 西尾市教育長 稲垣寿様、本日は有難うございます。卓話を拝聴させていただきます。

山崎克弥君 稲垣先生 本日は卓話をお受け頂きありがとうございました。よろしくお願ひ致します。

廣瀬成隆君 稲垣教育長が西尾小学校校長時代にPTAでお世話になりました。当時PTAが要望し、小学校で熱気球搭乗体験を行いました。希望した児童約400人を10人ずつに分け、希望した児童全員を熱気球に乗せてあげることができました。熱気球体験は風が吹くと中止になる企画で、稲垣先生にはハラハラドキドキさせたことと思います。PTAの要望に、ご理解・ご協力をいただき感謝しております。今日の卓話、楽しみにしております。

三宅千鶴君 稲垣教育長様、本日は卓話よろしくお願ひいたします。ちなみに本日は牛タンの日です。スマイルボックス委員長のひろみさんのお役に立てていれば嬉しいです。

小澤育史君 明日、JCの88年入会組で一杯やる事になりました。楽しみです。今週の連休に小倉へ釣りに行きます。大漁を祈って！！

加藤典男君 スマイル委員長が出せ～って言うもの
ですから。なにも良いことはないですが…

三浦眞澄君 皆様のお陰で14年皆出席できま
した。ありがとうございます！

萩原竜治君 西尾市スポーツ振興課にしおマラソン
事務局ミヤジマさん、ムラタさん、本日は「西尾マラソ
ンPR」がんばって下さい！！

浅岡直幸君 8年皆出席の残金、耳をそろえてスマイ
ルします。伊藤武行君いつもお世話になります。

榊原茂太郎君 7年ぶりの中学校同窓会を開催しま
した。楽しかった。

杉浦竜基君 出席率10年連続100%で表彰いた
きました。また、結婚記念日のお花いただきました。
ありがとうございました。

角谷和行君 三年皆出席ありがとうございました。今
後ともよろしく願い致します。誕生日月にもかかわ
らずクラブフォーラム欠席して申し訳ありませんでし
た。スマイルの御協力よろしく願い致します。スマ
イル副委員長 角谷でした。

吉崎和浩君 今日はなんとなくスマイルしたくなりま
した！

加藤 浩君 先々日(9/8)「チームにししん」として
幡豆ストーンカップに出場、DIYの部で何と3位に入
賞しました。色白の私が真っ黒になってしまいました
が、今夏の思い出が1つ増えました。

【卓話】

西尾市教育長 稲垣 寿 氏 「今、子どもたちに必要な力」



日頃は本市の教育にご支援、ご理解をいただきありがとうございます。今の子どもたちの育成について、特に部活動に焦点を当ててお話しします。最近の保護者は「可愛い子には旅をさせろ」ということわざに反して、子どもを旅に出すことを躊躇する傾向があります。先週、豊橋に向かう電車で一人旅をしている小学生を見かけ、その子が鉄道に興味を持ち、自分で写真を撮って編集している姿に感銘を受けました。これは、現代の子どもたちが柔軟に新しい技術を吸収している一例です。

昔から教育の目標は、「気は優しく力持ち」です。少し前なら読み書きそろばんと言い、計算が速く正確にできることは有用な力でしたが、あまり重宝されなくなりました。沢山知識を持っているといいという考えから、インターネットで調べれば大概のものは出てくる時代になり、知識を持っていることに対する価値は下がっています。さらには、AIが出てきたことにより、私は子どもたちがつけないといけないのはコミュニケーション能力、英語力、SDGsの知識だと思います。未来社会で生き抜くためには、新しい能力を取り込む力と忍耐力が必要です。今の子どもたちに忍耐力をどうつけるかが、教育の中で1番大きな課題だと思います。忍耐力をつけるには我慢して良かったという体験をするしかありません。今までの学校教育では部活動で忍耐力を育てました。しかし現在は、部活動を学校現場から離して地域の方でやる方針で国は動いています。小学校は今年度の大会を最後に、来年度以降の部活動はほぼなくなります。国は働き方改革の一環で、部活動を学校から地域へと移行しようとしています。部活動の影響で教員の超過勤務時間が出るため、部活を減らして教員の給与とのつじつまを合わせようとしています。子供たちの登校は8時くらいで教員の勤務時間ではありませんが、学校の中で子供たちに何かあったら、学校は管理責任を問われます。そのため先生たちは子供よりも早く来て教室や職員室にいます。昼の休み時間は教員にはほぼありません。さらに進路指導は絶対に勤務時間内には収まりません。そういう状況下にありながら国はICT教育や英語の授業を始めなさいと言います。そのほかにも保護者会などもあり、負担がとても大きいので、国は教員の仕事を削ろうと部活動を学校から外す方向にしています。

本市は、中学校部活動の地域移行に関する検討会議というのを公聴会、スポーツ協会、文化協会、市役所のスポーツ課等と一緒に一昨年度から立ち上げました。その中で、地域移行に向けてのロードマップを作り、今は部活動指導員という人を雇って土日の部活動を助けてもらっています。しかし、指導者の数が足りないという課題もあります。それから指導者に対する謝礼のお金、事務局費も足りず、さらに国は、部活動は保護者負担があって当たり前という発想です。しかし、あまり大きな保護者負担はかけたくないの、なんとか1番いい形で着地できないかと一生懸命探っている状況です。部活動が学校から離れることは青少年教育の大きな転換点になります。そのため地域部活動の方向性を一生懸命考えていきたいと思っていますので、これからもご支援よろしく願いします。